

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-198	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	文国 002-901	新編文学国語		

1.編修の基本方針

①生涯にわたり必要な言語能力を身につけるとともに、さまざまな文学的文章への理解を深める。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標と、教材ごとに学習する主な目標を示しました。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・近代以降の文学的文章のうち、「随筆」「小説」「詩」「短歌」「俳句」を取り上げ、文学的文章への理解を深めることができるようにしました。
- ・古典における文学的文章を掲載し、古典文学の多様な世界に触れ、古人のものの見方や感じ方、考え方を知り、自己の内面を見つめ、考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。
- ・Ⅰ部・Ⅱ部に3か所ずつ「書くこと」の言語活動教材を設け、「書く」「読む」の学習がバランスよく行えるようにしました。
- ・教材の内容やテーマに関係するコラム「文学の窓」や、作者・作品に関連する資料や解説を示したコラム「参考」などを設け、文学に関わるさまざまな知識を身につけられるようにしました。

②共感したり想像したりする力や、創造的な思考力、伝え合う力、思いや考えを広げ深める力を高める。

- ・展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、作者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- ・書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉えたり、表現を味わったり、また文章を批評的に読むことによって、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりできるよう、いくつかの教材末に「言語活動」などの項目を用意しました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、読み取ったことを伝え合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書くこと」「読むこと」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・附録に、「書くこと」「読むこと」の学習を見通したり振り返ったりすることができる「この教科書で学ぶこと」を設けました。

③進んで読書に親しみ、言葉が持つ価値への認識を深め、人生を豊かにする態度を育てる。

- ・生徒の読書意識を喚起し、読書の幅を広げられるよう、「ブックガイド」を設け、日本や世界の近現代文学作品や、日本の古典文学に関わるさまざまな図書を紹介しました。
- ・本や読書に対する関心を高めたり、本や読書について考えたりするため、本や読書に関連する随筆「雨月物語」(Ⅰ部「1随筆1」)、「書かれた風景の中へ」(Ⅱ部「1随筆1」)、「ほんとうはあのとき……」(Ⅱ部「6随筆2」)を掲載しました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 随筆1	・言葉を大切にしながら社会生活を送る人物との関わりを描いた随筆を用意しました。(第1号) ・上田秋成の『雨月物語』や小泉八雲の『怪談』などの我が国の伝統的な物語を題材として、それらに対して幼年期の筆者が感じた魅力について述べる随筆を用意しました。(第1号) ・表現したいことを適切に伝えるための言葉を考える活動を通して、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号)	→8～14ページ →15～19ページ →20ページ
	2 小説1	・少年野球団のキャプテンの当時と大人になった今を浮かび上がらせ、人を信じることの意味について問いかける小説を用意しました。(第3号) ・芥川龍之介「蜘蛛の糸」を翻案し、善と悪や罪業と改心などについて考えることができる小説を用意しました。(第1号)	→22～37ページ →38～46ページ
	3 詩歌	・「竹」、「永訣の朝」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌を用意しました。(第1号)	→50～63ページ
	4 小説2	・閉鎖的で絶望的な状況における悲しみや孤独感を寓意的に描き、他者との関わりによって、その孤独な魂が僅かに慰められる小説を用意しました。(第3号) ・沖縄戦において、負傷者たちへの献身を貫いて亡くなった看護師の姿を通じて、平和について考える小説を用意しました。(第5号)	→68～81ページ →82～105ページ
	5 古典	・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・自然や人々に対する作者の的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号) ・和歌の修辞について理解し、表現を工夫して短歌を作る活動を通して、伝統と文化を尊重するとともに、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号)(第3号) ・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号) ・日本と中国との関わりについて考えるきっかけとなるコラムを用意しました。(第5号)	→108～111ページ →112～113ページ →114～117ページ →118～121ページ →122ページ
	6 小説3	・引っ越し先の町での主人公と隣人たちとの心地よい距離感の中での交流を通して、現代社会における人間関係の在り方を描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号) ・コンビニエンスストアの店員と客の関係を通して、複層的に成り立っている社会の在り方を描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号)	→124～133ページ →134～140ページ
	7 随筆2	・幼年期の身体感覚と、「大人の世界」において流通する情報との乖離について述べた随筆を用意しました。(第1号) ・詩歌を知り、覚えるということが、生きていくために自らの気持ちを保つための言葉を確保することにつながると述べた随筆を用意しました。(第1号) ・読み手の関心が得られるよう工夫して、情景を言葉で描写する活動を通して、創造的な思考力を高め、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号)	→142～149ページ →150～156ページ →157～160ページ
	8 小説4	・「お嬢さん」をめぐる出来事によって変化する「先生」や「K」の心情を、「先生」の視点から描いた小説を用意しました。(第1号)	→162～196ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Ⅱ部	1 随筆1	・用いられる言語によって、見える世界や自らの感じ方が変わることについて述べた随筆を用意しました。(第5号) ・英語を母語として育った筆者による、『万葉集』『古寺巡礼』の読書体験と、山辺の道での旅行体験が述べられた随筆を用意しました。(第4号)(第5号) ・相手を決めて近況を報告する手紙を書く活動を通して、身の回りの出来事を表現する力を養う教材を用意しました。(第2号)	→198～208ページ →209～215ページ →216ページ
	2 小説1	・人間が虎に変身するという特異な状況の中での、主人公の内面と苦悩について描いた小説を用意しました。(第1号) ・擬人化された「短編小説」との会話から、小説はどのようなものかということや、小説を読むことはどのようなことかを描いた小説を用意しました。(第2号)	→218～233ページ →234～239ページ
	3 詩歌	・「帰途」、「小諸なる古城のほとり」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・俳句を用意しました。(第1号)	→242～251ページ
	4 小説2	・自分の意志で鞆を持っているつもりで、実は鞆に制御される青年や「私」を描くことで、負荷を欲し、拘束されることに安堵さえ覚える現代人の姿を風刺した小説を用意しました。(第2号) ・結婚前後での朝の時間の過ごし方の変化から、なくすことで好きになるものについて語られた小説を用意しました。(第2号)	→256～263ページ →264～273ページ
	5 古典	・日本の伝統的な文化を描いた作品を通して、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号) ・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第3号) ・世界文学の一つである『源氏物語』のさまざまな現代語訳を通して、我が国の伝統と文化を尊重するとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養う教材を用意しました。(第5号) ・和歌や歌謡を解釈し、解釈した内容をもとに物語を作る活動を通して、伝統と文化を尊重するとともに、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号)(第3号) ・名勝や季節の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号) ・古代中国の英雄である二人の人物の生き方を通じて、それぞれの人生観に触れることができる教材を用意しました。(第2号)	→276～277ページ →278～281ページ →282～283ページ →284～287ページ →288～289ページ →290～291ページ
	6 随筆2	・ジェンダーや性についての自身の認識と一人称との関係について述べた随筆を用意しました。(第3号) ・人間関係の中の「余白」の大切さについて述べた随筆を用意しました。(第1号) ・一年間を振り返り、思い出深い出来事を文章にしてクラスで共有し、文集を作る活動を通して、伝え合う力を養う教材を設けました。(第2号)	→294～301ページ →302～311ページ →312～314ページ
	7 小説3	・姉妹の嘘と、その嘘が現実になったかのような不思議な出来事を通して、人間の心の奥深さを描いた小説を用意しました。(第1号) ・父の胸のへこみを巡るエピソードを通して、家族との記憶や別れの悲しみを静かに描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号)	→316～331ページ →332～347ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、「ブックガイド」を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-198	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	文国 002-901	新編文学国語		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の2事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「本文に出る漢字」の関連語句や「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学ぶことができるようにしました。
- ・「随筆」「小説」「詩」「短歌」「俳句」などの多様な種類の近代以降の文学的文章を掲載し、文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができるようにしました。
- ・「説話」「随筆」「歌物語」「作り物語」「漢詩」「史伝」などの古典における多様な文学的文章を掲載し、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができるようにしました。
- ・「修辞を用いて短歌を作ろう」「情景を言葉で描写しよう」などの言語活動を設け、修辞などの表現の技法や文学的文章における文体の特徴を理解し使うことができるようにしました。
- ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書へのいざないとして、合計3か所に「ブックガイド」を設け、日本や海外の近現代文学や、古典に関する書籍などを紹介しました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

- ・物語や短歌を創作したり、書いた文章や創作した作品を読み合ったりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・読解教材に関連して言語活動を行うことができるよう、教材末に適宜「言語活動」の項目を設けました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
Ⅰ部									
1 随筆1	山さん	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	8		3	3	1 学期 22
	雨月物語	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	15		3	3	
	【言語活動】言葉で表現しよう	(1)ア、イ	(1)ア		20	3		3	
2 小説1	ナイン	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	22		4	4	
	新釈「蜘蛛の糸」	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、オ、キ	38	3	3	3	
	【文学の窓1】ストーリーの「語られ方」	(1)エ		(1)イ	47				
3 詩歌	鉄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	50		1	1	
	竹	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	52		1	1	
	永訣の朝	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	54		2	2	
	硝子の駒－短歌抄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、ウ	60	2	2	2	
	ブックガイド1	(2)イ			64				
4 小説2	山椒魚	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	68	4	4	4	
	【文学の窓2】小説は誰のものか	(1)エ		(1)オ	106				
	沖縄の手記から	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	82	4	4		
5 古典	小野篁、広才のこと	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	108		2	2	
	大江山の歌	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	110		2	2	
	枕草子	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	112		2	2	
	【言語活動】修辞を用いて短歌を作ろう	(1)ア、イ、ウ、エ(2)ア	(1)ウ(2)ア		114	6		6	
	小話一二編	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	118	3	3	3	
	【古典の窓1】漢文と古典落語	(1)ア、ウ			122				
6 小説3	隣人運	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	124		3	3	
	コンビニの母	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	134		2	2	
7 随筆2	光の窓	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	142		2	2	
	生きていくための呪文	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、オ	150		3	3	
	【言語活動】情景を言葉で描写しよう	(1)ア、イ、エ	(1)イ		157	6		6	
8 小説4	こころ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	162		9	9	3 学期 20

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
Ⅱ部									
1 随筆1	国語から旅立って	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	198		2	2	1 学期 23
	書かれた風景の中へ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ、キ	209		3	3	
	【言語活動】近況を報告しよう	(1)ア、イ	(1)ア		216	3		3	
2 小説1	山月記	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	218		7	7	
	【文学の窓3】小説のオリジナリティー	(1)エ		(1)オ	240				
	窓	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	234		3	3	
3 詩歌	夏の姿	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	242		1	1	
	帰途	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	244		1	1	
	小諸なる古城のほとり	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	246		1	1	
	金剛の露－俳句抄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、ウ	248		2	2	
	ブックガイド2	(2)イ			252				
4 小説2	鞆	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	256		3	3	
	【文学の窓4】不条理と文学	(1)エ		(1)ウ、キ	274				
	あの朝	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	264		3	3	
5 古典	初冠	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	276		3	3	
	源氏物語	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	278		4	4	
	【古典の窓2】『源氏物語』－現代語訳の世界	(1)ア、ウ、エ、(2)ア、イ		(1)ウ	282				
	【言語活動】和歌や歌謡をもとに物語を作ろう	(1)ア、イ、ウ、エ(2)ア	(1)イ、ウ(2)ウ		284	6		6	
	漢詩－二首	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	288		3	3	
	四面楚歌	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	290		4	4	
	ブックガイド3	(2)イ			292				
6 随筆2	空っぽの瓶	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	294		3	3	
	ほんとうはあのとき……	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	302		4	4	
	【言語活動】思い出を文集にしよう	(1)ア、イ	(1)エ(2)エ		312	6		6	
7 小説3	葉桜と魔笛	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	316		3	3	
	最後のドッジボール	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、エ	332		5	5	
	(Ⅰ部・Ⅱ部)合計					30	110	140	